ＰＴＡ活動実践事例
令和７年度さいたま市優良ＰＴＡ団体表彰受賞団体

※学校番号順

・仲町小学校ＰＴＡ

会長名等	活動内容・特色ある取組など
・ＰＴＡ会長 浅沼（あさぬま）　宏之（ひろゆき） ・校長 長谷場（はせば）　明博（あきひろ）	・配信システム「e メッセージ」を活用して、資料の配信やアンケートの集計を行い、役員の負担軽減につながっている。 ・「e メッセージ」のＰＴＡへの連絡ボタンを使って、保護者が気軽にＰＴＡに連絡できるようにしており、保護者からの意見に迅速に対応している。 ・技能協力役員を募集して、ＩＴを活用してスムーズに活動するためにサポートをしてもらっている。 ・ＰＴＡ本部公式の Instagram を開設し、ＰＴＡ活動を公開して、ＰＴＡに親しみをもってもらえるようにしている。 ・学校のホームページの中にＰＴＡのページを作って、ＰＴＡの規約や配布資料などを掲載し、非会員や地域の方など誰でも見られるようにしている。 ・体操服やさんすうセットなどのリユース活動を行い、SDGs に積極的に取り組んでいる。

・西浦和小学校ＰＴＡ

会長名等	活動内容・特色ある取組など
・ＰＴＡ会長 鈴木（すずき）　恵（めぐみ） ・校長 竹谷（たけや）　浩一（ひろかず）	・夏には校庭に、近隣の幼稚園から譲り受けた組み立てプールや家庭で使用しなくなったビニールプールを置いて、子どもたちが持参した水遊び道具を使って思いっきり水をかけ合う「水あそび」を実施し、保護者や参加できる教員も一緒に楽しむ時間を作っています。 ・西浦和小学校ＰＴＡオリジナルの逃走中を、保護者と中学生ボランティアがハンターになって実施。ミッションをクリアした児童には協賛する企業や商店の無料チケットを配布して、地域の活性化にもつながるように工夫しています。 ・近年、自分専用のスマートフォンを持つ年齢が年々低年齢化しており、子どもたちが「性」に関する誤った情報に触れ、さまざまなトラブルに巻き込まれる危険性が高まっています。また、家庭において保護者が正しい「性」について伝えることの難しさも課題となっています。そこで専門の講師を招き、発達段階に応じた性教育講座を３年生および６年生に実施し、教師向け・保護者向けも開催。 そして今年度は、全学年の児童および保護者を対象に性教育を実施しています。子どもたちが自分自身と他者を大切にし、正しい知識をもとに行動できる力を育むことを目的としています。 ・育成会と連携して防犯パトロールを行っています。また、育成会と協力して地域の大人たちと児童が一緒に遊べるレクレーションを実施しています。

・大久保東小学校ＰＴＡ

会長名等	活動内容・特色ある取組など
・ＰＴＡ会長 渡部（わたべ）　秀之（ひでゆき） ・校長 目黒（めぐろ）　良作（よしなり）	・ＰＴＡが独自に連絡用アプリ「がくぷり」を導入して、保護者への連絡や配布物の配信をデジタル化した。 ・事務作業や集金集計を、デジタル化や管理プログラム作成により、効率化することができた。 ・会則を時代に合う内容に改善して、運営の適正化と効率化を図った。また、専門委員会を統廃合し、会員が参加しやすいよう組織改革を行った。 ・開校５０周年にあたり、地元企業や地域の団体と共同したフェスティバルやイベントを多数開催した。また、地域で活躍するアーティストの協力により、子どもたちの手形による巨大なハンドアートを作成した。 ・全保護者に通学路の危険箇所のアンケートを行い、行政と協力して危険箇所の一部を改善することができた。

・上小小学校ＰＴＡ

会長名等	活動内容・特色ある取組など
・ＰＴＡ会長 富田（とみた）　敏弘（としひろ） ・校長 大島（おおしま）　恵美（えみ）	・「できる時にできる範囲で楽しくやろう！」という考え方で、楽しいＰＴＡ活動を目指している。子どもたちが喜ぶイベントを実施したり、ＰＴＡアプリ「がくぷり」で活動の広報をしたりした効果もあり、本部役員の志望率を約４倍に増やすことができた。 ・おやじの会を発足して、お父さんならではのイベントや情報交換をできるよう努め、男性役員の割合や、男性によるＰＴＡ活動への参加率を増やすことができた。 ・アプリを活用して、親しみやすく分かりやすい手紙の配信に努め、ペーパーレス化も実現している。自治会の回覧もアプリで配信することにより、地域のイベントへの参加人数を増やすことができ、地域の方からも「子どもたちの笑顔で元気になった。」と喜ばれた。 ・ＰＴＡが中心になり、姉妹校であるグアムのメリッソ小と現地視察や文通などの交流を行っている。 ・おやじの会主催で、さいたま市 Steams 教育の一環として、児童の自由な創作意欲を伸ばすピタゴラ工作教室などを実施した。

・植竹中学校ＰＴＡ

会長名等	活動内容・特色ある取組など
・ＰＴＡ会長 菊池（きくち）　敏子（としこ） ・校長 上続（うえつぎ）　昌司（まさし）	・専門部を廃止し、本部とボランティアによりＰＴＡを運営することとした結果、約９割という高いＰＴＡ加入率を実現しており、ボランティアへの応募人数も目標を達成することができている。さらに、中学生もボランティアとして活動することで、保護者と生徒がコミュニケーションをとる機会も設けている。 ・保護者と教職員の連絡のためにＬＩＮＥオープンチャットを利用したり、広報紙作成の依頼をするときにＧｏｏｇｌｅフォームを活用したりすることで、保護者と教職員が連絡をとりやすくなり、書類の提出や確認も容易になって、業務を効率化することができた。 ・育成会の定例会に毎月出席したり、北区民まつりや地域の子ども音楽祭に協力したりするなど、地域団体との連携に努めている。また、自治会と協力して、部活動のための地域の練習場所の開拓も行っている。 ・保護者向けに、植竹中学校からの進学者が多い高校の見学会と説明会を実施している。参加した保護者の満足度も高く、保護者同士が情報交換したり、親睦を深めたりする機会にもなっている。